

《6月の番組ガイド》

.....鳥取市広報番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【話題・特集】

- ▷金婚・ダイヤモンド婚祝賀行事
- ▷開幕！鳥取市民体育祭
- ▷童謡・唱歌100曲マラソンなど



昨年の「市民体育祭 卓球」

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土

鳥取市からのお知らせ イベント、募集、相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内しますで再放送します。

鳥取市議会 6月定例会

市議会定例会の開会・一般質問の様態を終了まで生中継、当日の午後6時から122ch(第2放送)で再放送します。

いなばぴよんぴよんネット  
自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

特産・砂丘ラッキョウや梅の収穫の様子、子どもの農業体験など、市内各地の農作業の様子をお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

小学校の新一年生を紹介する「こんにちは一年生」や各地の行事、児童生徒の農業体験などをお伝えします。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースやお知らせを手話や字幕で紹介。また、あいさつなど初歩の手話を1年間にわたり紹介します。

122ch (第2放送)

週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでしゃんしゃん体操を毎日放送中！

番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください！

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111  
※放送予定は予告なく変更することがあります。  
番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。  
<http://www.inabapyonpyon.net>



コンサートの成功に向けて「がんばろう」を三唱

「みなさんに希望を届けたい」  
「花は咲く」「明日という日が」「上を向いて歩こう」など、さわやかDay楽団の演奏する曲目は元気が出る曲ばかり。ただ今、6月15日の「さわやかDay楽団」

「客席と一緒に歌うのがさわやかDay楽団の良さ。もつといろいろなところに出かけて演奏したい」。団員の願いはみな同じですが、車で乗車できるバスがない、演奏先の施設がバリアフリーに対応できないなど課題は山積しています。また、平日の公演では、仕事を休んで送迎して下さる家族の協力も欠かせません。

ある時、福祉施設で演奏を終えた団員から、「介護を受けるばかりの自分たちでも、ボランティアができた」と喜びの声が上がったことを、まるで昨日のことのように、うれしそうに中嶋さんは話します。  
さわやかDay楽団の団員は現在16人。年齢も30〜90歳と幅広い世代が活躍しています。  
音楽に魅せられ、音楽が持つ人を元気にする力を追い続ける、さわやかDay楽団の活動はこれからも続きます。

★出演日程

さわやかDay楽団コンサート(要入館料)

とき 6月15日(日)13:30~  
ところ わらべ館

童謡唱歌100曲マラソン(入場無料)

とき 6月18日(水)13:00~16:30  
ところ とりぎん文化会館梨花ホール

ぜひお越しください！



講師 中嶋 玲子 さん 代表 角脇 武 さん  
会計 澤田 範子 さん

「依頼があれば、できる限り出かけた。昨年は福祉施設やお寺の本堂でも演奏しました」と話すのは、楽団で音楽講師を務める中嶋玲子さん。中嶋さんは、保育士として働いていた時、音楽が人を元気にする力に着目。教え子が園児から障がいのある人に替わった現在も、「音楽で人を元気にしたい」との思いは変わることもなく、一人一人の個性を大事にしながら、楽団を一つにまとめていきます。



昨年のさわやかDay楽団コンサート

楽団の会計を務める澤田範子さんは、実は歌は大の苦手。「楽器の演奏なら歌わなくてもよいから」と気楽な気持ちで楽団の結成に参加し、毎日、自宅でオカリナの練習を欠かしません。親しい仲間と会える週一回の練習が何よりも楽しみだそうで、「演奏会には、小学校の時の友達も来てくれて、久しぶりに会えてうれし。楽団に参加していなかったら、そんなこともなかったろうし、人前に入る自信もなかったと思います。そのうち

人の前に立てるのは楽団のおかげです

とは違う形であっても演奏できることに誰よりも喜びを感じ、その感動を多くの人に伝えたいと考えています。



美しいハーモニーを求め練習に励む

シリーズ  
元気です

147

音楽を元気の源に  
みんなの心を一つに

さわやかDay楽団

音楽で人を元気に

さわやかDay楽団は、障がい者福祉施設「さわやか会館」を拠点に活動する体に障がいのあるみなさんが結成した楽団です。もとはさわやか会館でデイサービスを受ける言語障がい者のための音楽訓練としてスタートしましたが、講座の受講生らが各家庭からさまざまな楽器を持ち寄り平成17年に楽団を結成。今では、わらべ館の「さわやかDay楽団コンサート」と、とりぎん文化会館の「童謡唱歌100曲マラソン」など、大型ステージのトップを飾るおなじみの楽団に成長しました。「依頼があれば、できる限り出かけた。昨年は福祉施設やお寺の本堂でも演奏しました」と話すのは、楽団で音楽講師を務める中嶋玲子さん。中嶋さんは、保育士として働いていた時、音楽が人を元気にする力に着目。教え子が園児から障がいのある人に替わった現在も、「音楽で人を元気にしたい」との思いは変わることもなく、一人一人の個性を大事にしながら、楽団を一つにまとめていきます。

音楽に救われ  
生きる力が出た

中学校の音楽教師をしていた角脇武さんは、55歳の時に脳出血で左半身に重い障がいを持つことに。その後、リハビリでさわやか会館の音楽講座と出会い楽団に入団。大好きな音楽に勇気づけられながら、今では楽団の代表を務めるまでに活躍しています。「病気になってステージに立つことは二度とないと思っていました。楽団はほくにとって最高のリハビリです」と笑顔で話す角脇さんは、障がい者用に開発された片手で吹けるリコーダーを購入し、次の舞台に向けて特訓中です。得意だったリコーダーを以前